

地域アマチュアスポーツ応援プロジェクト ～アマチュアスポーツを「広げる。繋げる。支える。」～ (スポエール沖縄プロジェクトチーム)

プロジェクトチームの目的

沖縄県スポーツ協会加盟団体、及び町村スポーツ組織（以下「スポーツ団体」という）は、財政難かつ情報発信力に弱さを抱えている。プロジェクトの一環としてホームページを提供しそれらを解決する。企業はホームページへの広告掲載で自社PRと社会貢献が出来る。さらには企業アイデアを取り入れた大会やイベントを行う事で企業とアマチュアスポーツを繋ぎ、アマチュアスポーツと産業の振興に資する。また住民の参加を促すことでスポーツへの関心を高め、住民の健康増進を図る。

解決したい課題

- ・スポーツ団体の情報発信力強化及び財政的な支援
- ・アマチュアスポーツと地域商工、住民を繋ぎ、地域産業振興と地域住民健康増進
- ・アマチュアスポーツとのふれあい、交流機会創出

関連するゴール



活動期間

令和7年6月～令和8年5月

1年間の活動概要

「活動①スポーツ団体への無償HP提供」：国頭郡体育協会を始め7団体に提供することが出来た。
「活動②スポーツ情報発信ネットワーク構築・広告掲載マーケット提供」：訪問介護を主な業務とする株式会社大翔をはじめ15の企業・組織が広告掲載をおこない、企業とアマチュアスポーツを繋げる事が出来た。
「活動③スポエールプロジェクトの主旨に賛同する「スポエールサポーター」の募集」：大同生命株式会社沖縄支部、株式会社okicom様をはじめ複数団体がスポエールの主旨に賛同しサポーターとなって頂いた。
「活動④スポエールHPへの広告掲載利用料金を用いたスポーツ団体への寄付・備品提供」：30団体にに対し総計27万円余りの寄付を行った。
「活動⑤スポーツ団体紹介、指導者・競技者インタビュー」：学生×企業 おきなわSDGs協創プロジェクトとして参加した高校生がスポーツ団体やスポーツ競技者のインタビューを行い、ポータルサイトスポエールに掲載した。
「活動⑥企業の提案を活かした競技大会・スポーツイベント開催・共催」：国際電子ビジネス専門学校とコラボし、所属の学生がスポーツ団体を応援するバナーをデザイン、コンテストをおこなった。

1年間の活動成果

「活動①」については昨年より7団体増加し51団体となり、順調に増加しており、情報発信の弱さという課題解消が進んでいる。
「活動②」については昨年と比べ微増ではあるが、「スポエールHP活用資金造成事業」としてスポーツ団体自ら広告顧客の獲得実績があったので本事業を浸透させたい。
「活動③」についてはベサポーターとなって頂く企業・組織が増えた。
「活動④」についてはホームページを提供している30のスポーツ団体にに対し総計27万円余りの寄付を行った。
「活動⑤」については、学生×企業 おきなわSDGs協創プロジェクトとして参加した高校生がスポーツ団体やスポーツ競技者のインタビューを行い、ポータルサイトスポエールに掲載した。参加した学生たちの反応も良く、良い取り組みとなった。
「活動⑥」についてはポータルサイトとスポーツ団体HPで「沖縄NICE映画祭4」、「LEAPDAY2025」などのイベント紹介のほか、国際電子ビジネス専門学校とコラボし、所属の学生がスポーツ団体を応援するバナーデザインコンテストをおこなった。KBCとのコラボは学校側から来年以降も継続開催したいと言っていた。



学生インタビューでの一コマ



バナーデザインコンテスト集合写真（沖縄タイムス取材記事引用）

今後の展望

今年度は昨年あまり成果を上げられなかった活動⑤、⑥について力をかけ、それが実現出来た事が最大の成果となったが、その継続が課題として挙げられる。また単独でのイベント開催も人材・資金といったリソースが足りず実現できなかった。イベント単独開催よりも周りを巻き込んだコラボイベントを進めていきたい。企業団体・専門学校とコラボしたコンテストイベントを実現すべく動き出しているため、プロジェクトとしての継続を切に希望する。